

Atsuko Kosukegawa Piano Recital

小介川淳子ピアノリサイタル

Restart ~ 再生 ~



2023年

12月2日(土) 15:00 開場
15:30 開演

松本記念音楽迎賓館

東京都世田谷区岡本 2-32-15 (Tel:03-3709-5951)

<チケット>4,000円 (小人 2,000円)

定員 50名 (要予約)

終演後、茶話会がございます。

<プログラム>

- ・ベートーヴェン ピアノ・ソナタ
第14番 嬰八短調 作品27-2
「月光」
- ・シューベルト 幻想曲 八長調
「さすらい人」作品15 D760
- ・ラフマニノフ チェロ・ソナタ
ト短調 作品19

<共演>

たかむれてるお
高群輝夫 (チェロ)



<お申込み・お問合せ>

ミュージック・ハーベスト music.harvest.jp@gmail.com
080-5008-8739(高山)



初めて鍵盤に触れた幼い日、『ドミソ』の和音の響きにうっとりして、私の音楽人生が始まりました。夕方になると、母が電気オルガンで唯一のレパートリーの『ソナチネ第4番』を弾くのを耳で覚えて、ピアノを習いに行く前から得意げに弾いていた子どもでした。それから何十年もの間には、たくさんの出会いと、失敗や挫折、愛する人々との別れがありました。そんな時に黙ってそばに居てくれたのが、ピアノと私の周りの優しい人々でした。コロナの時代、私たちは演奏活動のストップを余儀なくされ、自分にとって何が大切なのかを見つめることとなりました。私は自分がピアノを弾くことで、皆さまと繋がっていたい！これが私の生きる意味なんだ…と思うようになりました。その想いを『再生』…Restart・Reborn・Regrowth…に込めて、大切な皆さまにお届けしたいと思います。

感謝と共に 小介川淳子

小介川淳子 (ピアノ)

6歳よりピアノを始め、中学2年より専門を目指して学ぶ。

武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。

同音楽大学卒業演奏会に出演。

大学在学中より演奏活動を開始、津田ホールなどでのソロリサイタル開催のほか、アンサンブルピアニストとして合唱・室内楽・声楽の分野で活動を展開、現在に至る。

第10回京都フランス音楽アカデミーに選抜され受講、室内楽をクリスチャン・イヴァルディ氏に学ぶ。

ベートーヴェン『第九』では、クルト・マズア、朝比奈隆、広上淳一氏らのリハーサルピアニストを務め、その公演を支えた他、志の輔落語の映画『歓喜の歌』（2008年公開）に出演、劇中で演奏を担当。

1990年より20年間、海上自衛隊東京音楽隊ピアノ講師として隊員の指導に携わった。

2020年、横浜市にてベートーヴェン『皇帝』のソリストを務めた。

現在、日の出混声合唱団、武蔵野市民合唱団、津田ゼンガーフェスト、松庵小学校PTAコーラス・ぼむ de ばん、アンサンブルJ合唱団など数多くの合唱団のピアニストを務めている他、日野市内の保育園2園にてピアノ講師を務めている。

井上英子、岡野壽子、松浦豊明、アメリカ・ジリオッティの各氏にピアノを師事。

指揮法を甲斐正雄氏に、ピアノデュオをガネフ夫妻に学ぶ。

高群輝夫 (チェロ)

桐朋学園大学カレッジ・ディプロマ・コースで学び、東京藝術大学大学院修士課程修了（古楽専攻）

チェロを毛利伯郎、バロック・チェロを鈴木秀美の各氏に師事。バロック・アンサンブル「ラ・フォンテーヌ」のメンバーとしてベルギー・ブリュージュ国際古楽コンクール第2位と聴衆賞など受賞。

2013年まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に在籍、フォアシュペーラー奏者を務める。

現在、様々なオーケストラ、室内楽、また古楽の分野でも活躍し、「アルキュオン・ピアノトリオ」「タマーズ弦楽四重奏団」などのメンバーも務める。2020年より「チェロの名曲を弾く」シリーズを開催、チェロの楽器の魅力を追求している。活動を紹介したホームページ：<http://violoncello-takamure.jimdo.com>



松本記念音楽迎賓館

●東急線「二子玉川」駅《東口4番のりば》
東急バス [玉31]「成城学園前駅」行きまたは「成育医療研究センター・美術館」行き
所要時間15～20分

●小田急線「成城学園前」駅《南口2番のりば》
東急バス [玉31]「二子玉川駅」行き
所要時間15～20分

バス停「岡本三丁目」下車徒歩5分

※[玉07]系統の「成城学園前駅西口」行き、「二子玉川駅」行きはバス停「岡本三丁目」を通りませんので、ご注意ください。

住所：東京都世田谷区岡本2-32-15
電話：03-3709-5951

